



水土里情報を活用した防災マップシステムについて紹介します

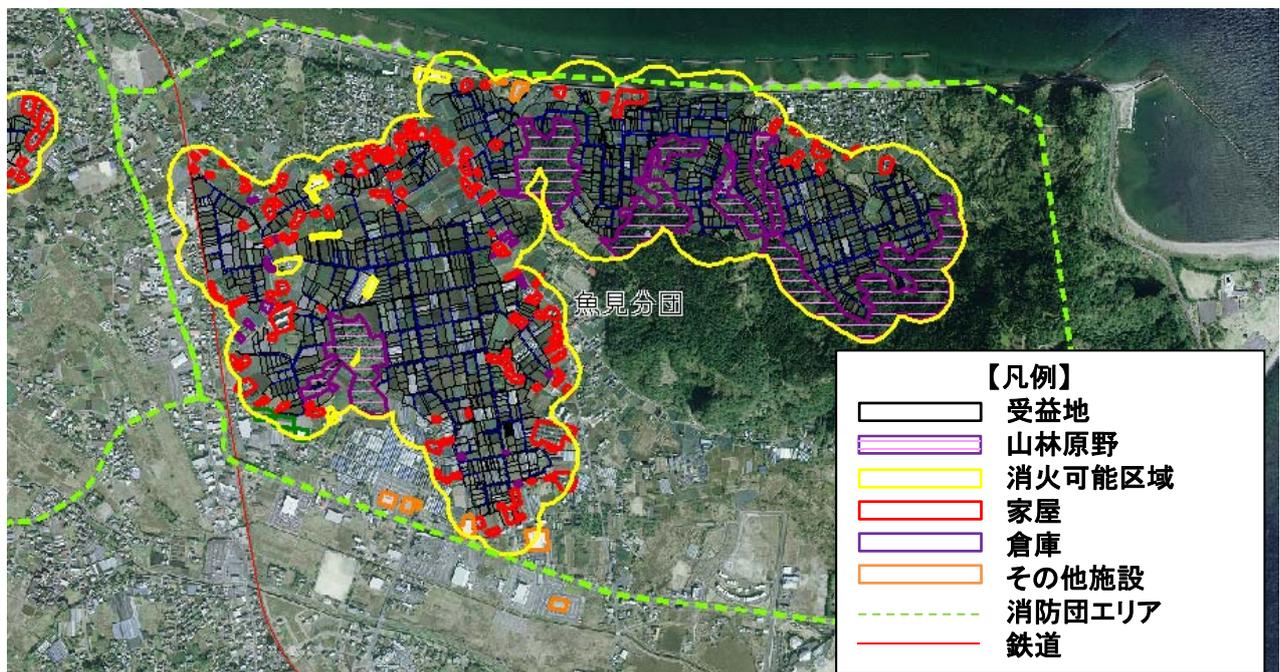
(1/2)

今回紹介する団体： 枕崎市、南九州市、指宿市、南薩土地改良区、
水土里ネット鹿児島

取組概要

内容： 水土里情報システムを活用し、畑地かんがい用の給水栓の位置情報と、家屋・倉庫・畜産施設・山林原野の位置情報を結合し、火災発生時に防火用水の水源となる給水栓を有効に活用できる防災マップシステムを作成した。

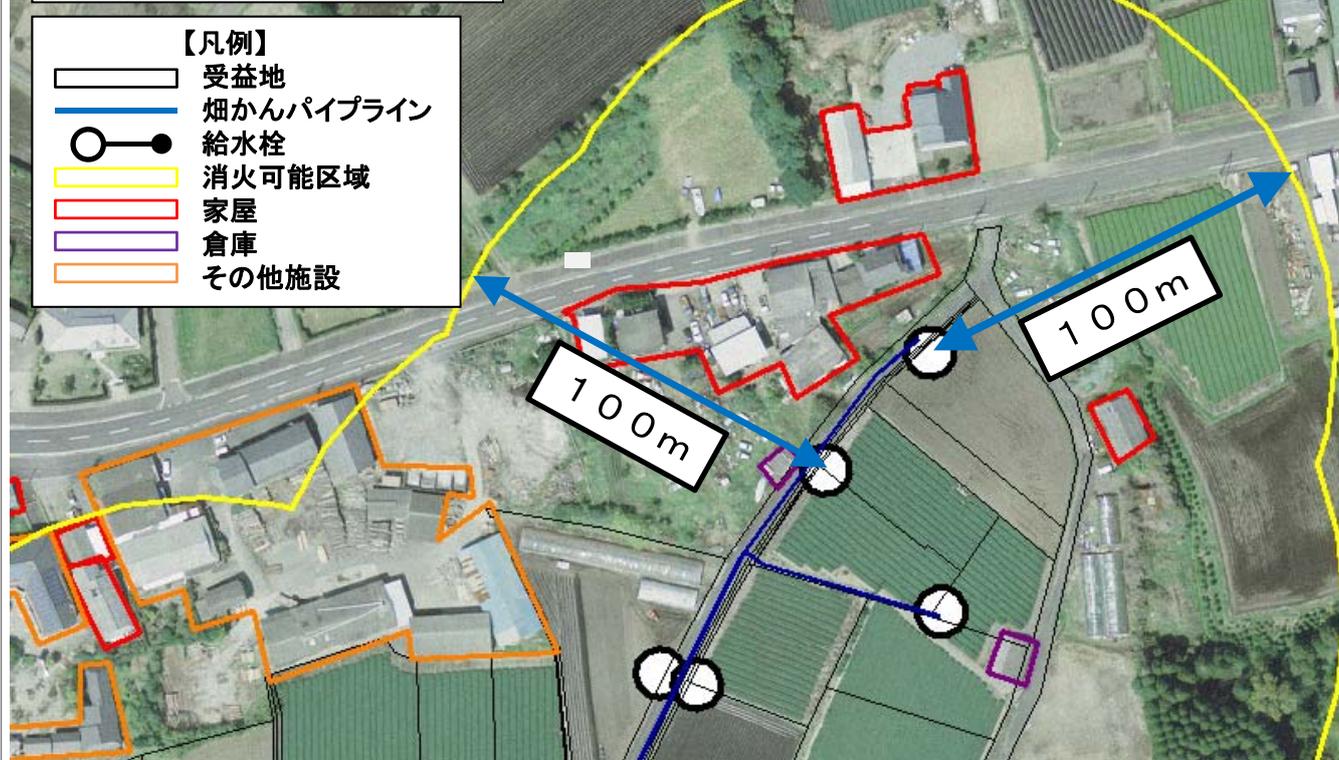
- 経緯：
- ①枕崎市、南九州市、指宿市の3市は、ため池、河川等が少なく、火災発生時の防火用水の水源不足が懸念されていた。
 - ②このため、3市は、火災発生時の非常時に、畑地かんがい用の給水栓を防火用水の水源に活用できるよう、南薩土地改良区と協定を結んだ。
 - ③給水栓を活用するにあたり、家屋・倉庫・畜産施設・山林原野及び区域内の消火栓の位置情報を結合した防災マップシステムを作成。さらに、消火に必要な水圧を確保できる範囲を想定し、消火可能範囲区域を表示した。
 - ④防災マップシステムにより、3市及び地域消防団が土地改良区と給水栓の位置情報を共有することにより、防火用水として有効に活用できることとなった。



期待される効果

- ・ 防災マップシステムを活用し、消防分団と協力して、畑地かんがい用給水栓の点検を行うことにより、土地改良区の省力化、体制強化が期待される。
- ・ 火災発生時に火元と消火水源となる給水栓の位置関係を判断することができ、迅速な消火活動が期待される。
- ・ 非農業従事者の方々は、給水栓の位置情報を知らないため、公民館等に防災マップシステムを活用した図面を掲示することで、周知できる。

防災マップシステムの画面



今後の活用予定

地元住民に給水栓の位置を認識してもらうため、集落の会合等で防災マップシステムで作成した図面による説明を行い、土地改良施設(パイプライン)管理と併せて防災への意識向上に活用。

■お問い合わせ先

鹿児島県土地改良事業団体連合会 水土里情報センター 099-223-6347(直通)
農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(愛宕、沖) 03-6744-2201(直通)